

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 4 月 23 日 (2009.4.23)

【公開番号】特開 2007-246563 (P2007-246563A)

【公開日】平成 19 年 9 月 27 日 (2007.9.27)

【年通号数】公開・登録公報 2007-037

【出願番号】特願 2006-68156 (P2006-68156)

【国際特許分類】

C 0 8 L 77/00 (2006.01)

C 0 8 K 3/32 (2006.01)

C 0 8 K 5/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 77/00

C 0 8 K 3/32

C 0 8 K 5/00

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 3 月 9 日 (2009.3.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリアミド成分 (A) 100 質量部に対して、アパタイト成分 (B) 0.1 ~ 30 質量部、ヒンダードフェノール類 (C) 0.01 ~ 5.0 質量部、およびヒンダードアミン類 (D) 0.01 ~ 5.0 質量部を含有し、ヒンダードフェノール類 (D) に対し、ヒンダードアミン類 (E) が 1.1 ~ 5 倍であることを特徴とするポリアミド樹脂組成物。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のポリアミド樹脂組成物から得られることを特徴とする成形品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

本発明者らは、上記課題を解決すべく鋭意検討した結果、ポリアミド樹脂に特定量のアパタイト型化合物を含有させた特定のポリアミド樹脂複合体に、特定の安定剤を配合したポリアミド樹脂組成物により、上記課題を解決できることを見出し、本発明に至った。

すなわち本発明は、

(1) ポリアミド成分 (A) 100 質量部に対して、アパタイト成分 (B) 0.1 ~ 30 質量部、ヒンダードフェノール類 (C) 0.01 ~ 5.0 質量部、およびヒンダードアミン類 (D) 0.01 ~ 5.0 質量部を含有し、ヒンダードフェノール類 (D) に対し、ヒンダードアミン類 (E) が 1.1 ~ 5 倍であることを特徴とするポリアミド樹脂組成物。

(2) 上記 (1) に記載のポリアミド樹脂組成物から得られることを特徴とする成形品。
である